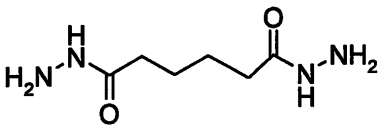
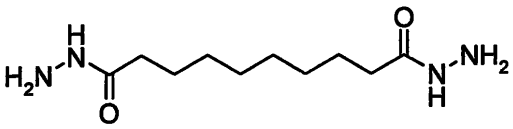
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第５区分
【発行日】平成22年5月27日(2010.5.27)

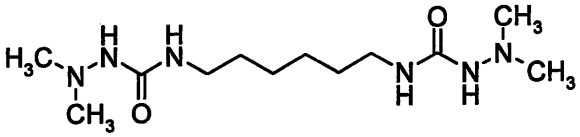
【公表番号】特表2009-534551(P2009-534551A)
【公表日】平成21年9月24日(2009.9.24)
【年通号数】公開・登録公報2009-038
【出願番号】特願2009-507031(P2009-507031)
【国際特許分類】
Ｄ０６Ｐ　5/06　(2006.01)
Ｄ０６Ｍ　13/402　(2006.01)
Ｄ０６Ｐ　5/22　(2006.01)
Ｄ０６Ｐ　5/00　(2006.01)
Ｄ０６Ｍ　13/422　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｄ０６Ｐ　5/06
Ｄ０６Ｍ　13/402
Ｄ０６Ｐ　5/22　Ｆ
Ｄ０６Ｐ　5/00　１０３
Ｄ０６Ｍ　13/422

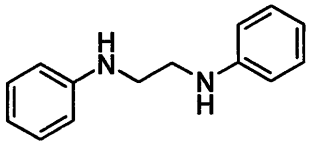
【手続補正書】
【提出日】平成22年4月7日(2010.4.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
（Ａ）全組成に基づき５ないし９５質量％の、式（１ａ）又は（１ｂ）
Y_1-X-Y_2　（１ａ）
A_1A_2N-OH　（１ｂ）
［式中、
Ｘは、２価の脂肪族、芳香族、芳香脂肪族又は脂環式の基を表わし、
Y_1及びY_2は、各々互いに独立して、－ＯＨ、－ＣＯ－OR_1、－NR_1R_2、－ＣＯ－ＮＨ－NR_1R_2又は－ＮＨ－ＣＯ－ＮＨ－NR_1R_2（式中、R_1及びR_2は、各々互いに独立して、水素原子、炭素原子数１ないし２０のアルキル基、炭素原子数１ないし２０のアルコキシ基、炭素原子数５ないし２４のシクロアルキル基、炭素原子数５ないし３０のアリール基又は炭素原子数６ないし３６のアラルキル基を表わし、該アルキル基、アルコキシ基、シクロアルキル基、アリール基又はアラルキル基は、未置換であるか、又は、ヒドロキシ基、アミノ基、スルホ基又はカルボキシル基又はハロゲン原子の１つ以上によって置換され得る。）を表わし、
A_1及びA_2は、各々互いに独立して、炭素原子数１ないし２０のアルキル基又は炭素原子数６ないし３６のアラルキル基を表わす。］で表わされる少なくとも１種の化合物、
（Ｂ）全組成に基づき０ないし９５質量％の、１種以上のアニオン性又は非イオン性界面活性剤もしくは分散剤；及び、
（Ｃ）全組成に基づき０ないし８５質量％の、固体の無機酸又は有機酸
を含み、
各場合において、成分Ａ＋Ｂ＋Ｃの合計量が１００質量％となる組成物。

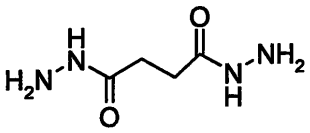
【請求項２】
成分（Ａ）として、式（１０１）ないし（１０５）
【化１】


(101),


(102),


(103),


(104),


(105).

で表わされる化合物を含む請求項１に記載の組成物。
【請求項３】
成分（Ｂ）として、式（２）
Ｒ－Ｚ－ＳＯ$_3$Ｍ　（２）
［式中、
Ｚは、２価の芳香族基を表わし、
Ｒは、炭素原子数１ないし２０のアルキル基、炭素原子数１ないし２０のアルコキシ基、炭素原子数５ないし２４のシクロアルキル基、炭素原子数５ないし３０のアリール基、炭素原子数６ないし３６のアラルキル基、－ＮＨＲ$_3$、－ＮＲ$_4$Ｒ$_5$、－ＮＨＣＯＲ$_6$又は－ＮＲ$_7$ＣＯＲ$_8$（式中、Ｒ$_3$、Ｒ$_4$、Ｒ$_5$、Ｒ$_6$、Ｒ$_7$及びＲ$_8$は、各々互いに独立して、炭素原子数１ないし２０のアルキル基、炭素原子数１ないし２０のアルコキシ基、炭素原子数５ないし２４のシクロアルキル基、炭素原子数５ないし３０のアリール基又は炭素原子数６ないし３６のアラルキル基を表わし、該アルキル基、アルコキシ基、シクロアルキル基、アリール基又はアラルキル基は、未置換であるか、又は、ヒドロキシ基、アミノ基、スルホ基又はカルボキシル基又はハロゲン原子の１つ以上によって置換され得る。）を表わし、及び、
Ｍは、水素原子、アルカリ金属カチオン又は未置換のアンモニウムイオン又は１つ以上の炭素原子数１ないし２０のアルキル基によって置換されたアンモニウムイオンを表わす。］で表わされる化合物を含む請求項１に記載の組成物。
【請求項４】
成分（Ｂ）として、アルキルベンゼンスルホネート又はアルキルスルフェートを含む請求項３に記載の組成物。

【請求項５】
成分（Ｃ）として、酒石酸、蓚酸、アジピン酸又はクエン酸を含む請求項１に記載の組成物。
【請求項６】
染色されていない、蛍光増白された又は反応染料、酸性染料、金属錯体染料又は分散染料で染色された、天然又は合成繊物繊維材料の熱安定性を改善する方法であって、該繊維材料が請求項１に記載の組成物を含む液で処理されるところの方法。
【請求項７】
染色されていない、蛍光増白された又は反応染料、酸性染料、金属錯体染料又は分散染料で染色された、天然又は合成繊物繊維材料のオゾン堅牢度、NO_x堅牢度又は塩素堅牢度を改善する方法であって、該繊維材料が請求項１に記載の組成物を含む液で処理されるところの方法。